



シラバス参照

タイトル「**2015年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	観光と宇宙		
担当教員	尾久土 正己		
対象学年	2年	クラス	T1
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	火5	単位区分	選必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)			
授業の概要・ねらい	我が国には、数百を超すプラネタリウムや天文台が設置され、多くの人々が訪れている。これは、美しい星空や、望遠鏡で見る様々な天体が観光資源になりうることを意味している。そこで、本講義では天文学の基礎知識、望遠鏡などの操作技術を学ぶだけでなく、天文台やプラネタリウムで行われている案内のノウハウも学ぶことで、天文資源を観光資源として活用する能力を養成する。また、近い将来、宇宙旅行が本格的に始まると言われている。宇宙観光の可能性についても紹介する。		
授業計画	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	プラネタリウムと公開天文台	
	3	宇宙の基礎知識I (地球の運動と星座の動き)	
	4	宇宙の基礎知識II(恒星とその進化)	
	5	宇宙の基礎知識III(銀河と宇宙)	
	6	天体観測実習 (大型望遠鏡での観望)	
	7	星の文化I (星座と神話)	
	8	星の文化II(暦と迷信)	
	9	望遠鏡の仕組み	
	10	天体観測実習その2 (小型望遠鏡の操作)	
	11	プラネタリウム実習 (デジタルドームシアター)	
	12	雨の日、昼間の星空案内	
	13	日食ツアー、オーロラツアーなどのネイチャーツアー	
	14	宇宙旅行 (外部講師予定)	
	15	まとめ	
到達目標	天文学の基本的な知識を学び、望遠鏡を操作できる技術を習得した上で、宇宙を観光資源として活用できる力を身につける。		
成績評価の方法	毎回の小レポートと数回のレポートに出席状況を加味して評価する。		
教科書	必要に応じて講義の中で紹介する。		
参考書・参考文献	特になし		

履修上の注意・メッセージ	天体観測などの実習では、夜遅くなる場合（～20時くらい）があります。アルバイト等に注意してください。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	
授業時間外学習についての指示	和歌山や大阪南部には本格的な公開天文台がいくつもあります。各自、受講期間中に見学してみましょう。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.